

(2019-20年度 国際ロータリー・テーマ)



「好文亭」(水戸市)

## 台風19号に想う

砂押 憲正 (写真映像関連)

国体が閉会した10月8日、台風19号発生のニュース。大規模で週末頃に上陸とのこと。身体障害者大会への参加者たちが水戸へ…できるのかなとは思っていましたが中止決定。11日公共交通機関（鉄道・航空機）も計画運休が発表され、店周辺の大型店も明日12日は休日とのこと当店も休日になりました。水戸駅構内は大会への参加者であふれておりました。一昨日に中止を決定していたらと、何人もの参加者から不満を聞きました。

台風上陸の12日雨が降り出し、各地で水害の放送が流れる。水戸市も避難勧告の放送。自宅は、直線で那珂川（300m）と涸沼川（約1km）の合流地点、必ず水の溢れる所です。夜7時静岡県に上陸。茨城県は9時から11時がピークとのこと。自宅の昨夜からの降水量は90mm、少し安心して床にはいる。

13日 朝4時30分頃、御前山の友人から電話があり、自宅を降りたところの国道123号線が水で溢れしており、那珂川が越水か決壊しているとの事。（この方は夕方まで身動き出来なかつたとのことです）。5時自宅前の水田は一面冠水（想定内）早速自宅から自動車の移動、国道245号線脇の高台に約40台避難する。地区の人々はだれ一人避難してなかつたようでした。満潮と大潮と重なってもそんなには増えないだろうと意見が一致。30数年前も10年前もこれから増えても10~20cm程度。堤防が無いだけに状

況が把握できる。涸沼川からの越水と逆流で増えている。自宅は浄化槽が周辺の排水溝から溢れた水でトイレが出来なくなり、空堀の池も冠水。被害はこの程度かな。午後の満潮を過ぎると一気に水が引き始めました。これからが大変です。道路一面稻わらと泥が、近所の人達も清掃を実施きれいになりました。

同日昼のニュースで、水郡線の鉄橋が流され大子町の氾濫などは知っていたが、那珂川の氾濫情報は流れてない中で、水戸北インター近辺の冠水の映像を見て藤井川決壊で内水氾濫したと思いました。大洗鹿島線も動かないとのこと避難勧告が出ている地区は動かせなかつた様です。その夜日本はラグビーでベスト8、これ程美味しいお酒はありません。

翌日周辺の水はほとんど引きました。確認しながらあとかたづけ。自宅の庭の落葉の後始末に1日を費やした。夕方金木犀の匂いがし、庭先には南限の花ハマギクが咲いていた。

今回の災害をみて、本当なら地元の人たちが「被害がなくて良かったね」と言ってもらえるような洪水対策が済んだ地域であつてほしかったとつくづく思いました。これ迄にも大きな被害を受けてきたところなので。国の道路と河川行政が連携を組んでくれていれば…国と県・地方自治体との連携、行政は、地元の人たちの意見をどのくらい汲んでいるのか胸に手を当てて考えてほしい。

No. 16 2019・10・29

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階  
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825  
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

**水戸ロータリークラブ**

■会長 高沢 彰 ■幹事 片岡 宗巖

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階



皆さん改めまして  
こんにちは。今日は私  
が学んだ事そして覚え  
た事そうした観点から  
皆さんの今年度の重要  
な1年をどう過ごすか  
アドバイスをどこまで  
できるかまったく自信  
はありません。しかし、  
後のクラブ協議会の時に会員の方々からお  
話を頂きます。今まで積み重ねたものをベース  
にして少しでもお役に立ちたいというのが正直  
な心境であります。私は個人的には2年の勉強  
をしたのですが1番勉強できたというのは、何  
と言いましても今年の正月アメリカのサンディ  
エゴ国際協議会で覚えたこと習ったこと教えら  
れしたこと色々なことを目にすることができま  
した。大会でR I会長のマローニー氏が承認  
され、マローニー氏から今年度の進め方あるいは  
具体的な目標等々について多くの教育を受け  
ました。世界のガバナーとしてなるべく人が  
540名程すべての人が奥さんと同伴されました。  
そして1週間の研修のうち午前中は全体会議、  
午後からは日本から参りました34名が2つの  
グループに分かれまして分科会トークというこ  
とで学びました。そういう学びの中で学習し  
たことをベースにしながら、次にそれぞれの方  
が思うこと考えることを聞かせて頂きました。  
当然一緒にいた私も自分なりの考え方というの  
はその都度述べさせて頂きました。そういう事  
をベースにして日本に帰りました。3月には  
地区チーム研修セミナー・会長エレクトセミ  
ナー、4月には地区研修協議会が開かれました。  
今年度の会長幹事の方々には色々な意味でお  
伝えをしたという事です。その基となったのは何  
と言いましてもアメリカの今年度のR I会長で  
ありますマローニー氏の語られました言葉がベ  
ースになっております。こうしたことは何度か皆  
さんの前でご披露したのですが今日皆さんがあ  
いで頂きましてぜひご覧いただければと思って  
おります。

ロータリーはいま何が問題か、そしてまた何

をやるべきか、目指すべきものは何か、そうした  
ものを教わって参りました。そうした経緯を  
経まして日本に帰ることができました。そして  
1月になりました今度はこの第2820地区でど  
うした形でこれを進めていくかということに個  
的には大変な立場から色々研修をしました。  
その中で地区的スローガンとして「人、学びて  
更なる奉仕」というのを掲げさせていただきました。  
この中の特色としては人の後ろに点が入っ  
ています。この点は一般的には人はうんぬんと  
いう形で表現されると思います。それを私はもつ  
と幅広く人は人も人から人よりあるいは人うん  
ぬんというような形で多くの人と接することに  
よって自分が学びそしてまた自分で力を得てそ  
うしたことで人間性を高めてそれをベースにして  
社会奉仕あるいは色々な奉仕活動に参加して  
いこうとする形がロータリアンとしての道では  
ないかなということを考えたのがその言葉でした。

そういう事を考えついたのも実は50年前の事  
です。私はその当時東京に勤めており、会  
社の社長がロータリアンでした。東京でも有数  
な資産家で、その社長がたまたま出かける時に  
社員一同というか一部秘書課の社員が一生懸命  
真面目な形で送り出していました。そうした姿  
に立派さを感じ、私はある会議の時に「ロータ  
リーは何でしょうね」と。そしたらその時の言  
葉が「学ぶ場だな。学ばせてもらう場だな。」  
その2言でした。ロータリーに対して学ぶ場で  
あると印象的に思い、会社勤めをしておりま  
したが、たまたま私が体を壊してしまい田舎に帰  
ることになりました。そしていまの職業であります  
建設業・造園業を営み現在に至っております。  
そうした中20年経ち、東海那珂ロータリー  
クラブに入会しました。その時に昔教わった言  
葉を思い出し、「ロータリーというのは学ぶ場  
なんだな」と印象を持ち例会に参加しました。

私が入った1990年頃、原子力関係とか東電  
関係とか大勢の方がおりました。そういうたま  
たく違う職業の色々な方が集まって例会を開き  
その例会において発表し、あるいは話をし人対  
人の付き合いができた。そういう意味で私はそ  
れが嬉しくて辞めることなく今に繋がっている

そういう経験をふみながら続けてまいりました。特に感じたことはまず我々が奉仕活動で何をするかという事がテーマでありその中で1997年に東海那珂ロータリークラブが設立10周年の時を迎え、その時に資金をいくらか貯めておりました。何か国内で奉仕活動をしようという事を最初予定していましたが、その当時の金額は決して豊かな数字ではなく県外では結構苦しい状況でした。その時に福島県会津若松出身のエベレスト山に登山していた人と出会いました。この方はエベレストにはとうとう登頂することはできなかったのですが世界でも有名な登山家でした。世界で2番のK2には登頂されました。いくつも名山に登山し山の命名権をもらって山の名前もつけた人でした。その人がエベレストに挑戦している時に幾度も事故が起きてしまい、事故が起きた中で1番犠牲になったのはシェルパさんでした。当時荷を運んでいたシェルパさんが何人か亡くなってしまいました。そうした状況の中で彼はその子ども達に何をしようか奉仕しようかということになりました。ネパール学校支援ということが定められました。ネパールの首都カトマンズから北東の方へ約100キロ行ったところに大きな村があります。エベレストの街道沿いにある村ですがそこで学校建設を始めました。その中の1校、村の中でも分岐点からまた20キロ上がるような小さな村です。そこには教室が4つの小さな学校があります。その村にも学校に行きたい子ども達がまだまだいるという話を聞きました。そして、我々の奉仕活動に協力依頼を受けスタートしました。1年間のお金を持ってネパールにまいりました。その当時清水会員と一緒に行動し1年間で8つの教室を作ることができました。当然今までの4つの教室と合わせると職員室その他に子ども達が学ぶ部屋が多くでき、そのことが村に伝わり子ども達が大勢通う学校になりました。最初は学校を作ったが翌年からは学用品とか生活の補助とかという形で今も続けています。約23年くらいになる事業です。そういう意味で現地の人たちと接したいあるいは日本に来たいという子ども達も随分生れました。やはり貧しい村ですが一生懸命勉強すると優秀な子どもが育ち、また能力の高い人がまたま貧しい村で生まれ育ったので少し厳しい生き方をして

きたという子ども達も多いようでした。学校の子ども達は数も多く揃い学ぶことも増えました。学校としては一歩でも二歩でも進歩し、今は国内でも田舎の学校としてはかなり優秀な学校として国からも表彰される学校になりました。こういう学校に成長したのですが、その中の1人の小学校5年生の子どもでした。我々が行っている時にお父さんは病気で亡くなってしまい、お母さんも病気で普段の農作業もできない厳しい家庭になり、当然成績も優秀な子どもだったのですが毎日学校に通うこともできなく休む事も多くなりました。学校の先生が心配して何とか支援してくれませんかと校長先生、教頭先生の協力依頼を受けました。1人の子どもといえども学校時代面倒を見るのは大変なことです。清水会員とクラブ会員に相談し支援するという方向性になりました。支援は彼が小学校5年の時から資金を送り出しました。学校の支援金と別にそれが年間でいうと7万円くらい、多い時は10万円から年間で納めました。ネパールでは大変高額な資金だった。それを利用して彼は優秀な成績で小学校そして中学校さらに高校を地元あるいは、近くの高校まで進学し卒業しました。当然成績は優秀で、その後有名な大学に入りました。そこも無事終了し、大学院に進み、その後卒業し社会奉仕活動が始まったという人間に成長する事ができました。彼が今している事は元々宗教系のお家だったので地方へ帰れば宗教のことを村の人たちあるいは子ども達さらに都会へ出て大学の人たちに教えています。

更に彼は勉強家であり今、法律について大変勉強している事があるといいます。と、いいますのもネパールという国は十数年前までは王様が健在で王制度の国でした。こうした形の国でしたが市場的な事、社会的な事とか含めまして王制度が崩壊した。それ以後今は共産主義者あるいは社会主義者そうした方々が混じっての大きな政党によって政治が行われているそういう国になりました。当然そういう国になりますと日本でいう憲法あるいはもろもろの法律そうしたものが王制度のものが使えないという形になってまいります。その作成という意味で彼が今参加するようになりました。政府の方とあるいは弁護士と共に学び色々な情報を世界から

身に付ける事が大きなテーマとして今活動しています。今年の4月だったのですが東京に呼ばれました。政府の方弁護士の方と共に来ました。彼は支援した歴史を重ねまして日本語も良くでき漢字も字も読めるように成長していました。今回の法律の団体の中では通訳研究者として十分に働いて帰りました。

そういう人に育ったことを思うとやはりロータリーの大きな目標にあります人材の育成、更に奉仕というものが重なりまして彼らのような子どもを生んだ。そしてこれは社会を視野に海外の事情を考えますと1人だけを支援するというはある意味タブーな面もありますが、今思うと彼は色々な子ども達に教え色々な大人に教えそして対象したのが1人だったのでその広がりロータリーの目指すべきものとまったく同じだなと私は思っています。

そういう意味で社会奉仕、国際奉仕の事を思うと自分自身のことも重要ですがあるいは将来を見越してどう取り組んでいくのかというのが我々の1つの課題かなと思っています。

ぜひ皆さん方もまだまだこれから3ヶ月過ぎた今計画が組まれているそうしたものを残りの9ヶ月どういう形でそれを実現していくかそれが皆さん方の今年度の大きなテーマだろうと思つております。

こうした観点を皆さん協議会で発表されますのを聞きまして私なりに感じることがあります。まことにこうした茨城県で1番古い立派なクラブです。こうしたクラブが見本となってまた一步でも二歩でも他のクラブの会員たちが理解しながらまたそれを教わりながら独自のクラブを作っていくような結果・形で進んでもらえれば良いなという心境です。ぜひ皆さん方にこうして私も個人的に子供の頃から教わった方が何人もいらっしゃいます。学校の勉強あるいは生き方お金の儲け方色々教わりました。ところがなかなかそれが覚えられずいまだに貧乏生活をしておりますけどもただ事を学ぶという意味では大きな支えとして皆さんから有難く感謝を申し上げます。

## 例会報告

10月第5例会

司会 横須賀(靖)委員長

### ◇ ゲスト紹介

R I 第2820地区ガバナー

中村 澄夫 氏 (東海那珂RC)

第3分区ガバナー補佐

石田 哲郎 氏 (水戸西RC)

地区幹事 清水 繁氏 (東海那珂RC)

地区大会実行委員長

浅川 清司 氏 (東海那珂RC)

地区副幹事 目黒 伸也 氏 (東海那珂RC)

第3分区ガバナー補佐セクレタリー

田上 悟史 氏 (水戸西RC)

### ◇ 会長の時間

高沢会長

中村澄夫ガバナー公式訪問の日を迎えました。

R I 第2820地区中村澄夫ガバナーはじめ、石田哲郎第3分区ガバナー補佐、清水繁地区幹事、浅川清司地区大会実行委員長、目黒伸也地区副幹事、田上悟史第3分区ガバナー補佐セクレタ

リーのみなさまようこそ水戸ロータリークラブにお越し下さいました。

既に午前中の11時から、会長、内藤会長エレクト、片岡幹事との協議会では1時間にわたる大変充実したご指導や意見交換が行われました。例会では、あらためて中村澄夫ガバナーの卓話を拝聴し、その後のクラブ協議会でも、種々のご指導を頂けると思います。期待と緊張でいっぱいです。また、協議会終了後、会場設営の関係でいつもより少しお時間を頂戴しますが、記念写真撮影のあとクラブ協議会がございます。地区役員の皆さんにおかれましては連日のクラブ訪問など公務でお忙しくお疲れのことと思いますが、どうかよろしくお願い致します。

### ◇ 出席報告

渡邊委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
113名	78名	35名	71.56%

前週訂正出席率 75.00%  
前々週訂正出席率 70.75%

#### ◇ 会員メークアップ

9/17 北海道2500R E C 藤本 淳  
10/2 水戸R A C 西 修、秋山 現信、  
 安 圭一  
10/20 R L I ・パートⅡ  
 井上 壽博、長野 久嗣、片岡 宗巖、  
 香嶋 貴、白田 礼治、横須賀良一、  
 川名 信博、田中 邦彦、成田 浩明  
10/24 第3分区親睦ゴルフ大会  
 横須賀満夫、石井 隆志、五條 史男、  
 小林大次郎、清水 洋一、吉原 清寿、  
 篠崎 和則、宮沢 敏夫

#### ◇ にこにこB O X

藤田委員長  
中村ガバナー……公式訪問に伺いました。宜しくお願い致します。  
石田第3分区ガバナー補佐……本日も宜しくお願い致します。  
井上会員……中村澄夫ガバナーご苦労様です。  
 10/20のR L I ・パートⅡディスカッションリーダーを務めました長野・川名・成田・田中・横須賀(良)各リーダーに敬意を表します。  
高沢会員……ガバナー公式訪問を祝して。本日はよろしくお願いします。  
片岡会員……中村ガバナーようこそ水戸R Cにお越しいただきました。本日宜しくお願ひ致します。  
大久保会員……中村ガバナーのご訪問を心より歓迎致します。  
豊崎(繁)会員……ガバナー公式訪問を祝して。  
内藤会員……中村ガバナー、皆様、ようこそ戸ロータリークラブへ。今日一日よろしくお願ひいたします。  
岡崎会員……中村澄夫ガバナー、本日は一日よろしくお願ひいたします。  
二川会員……中村ガバナーようこそ水戸へ。本日はよろしくお願ひ致します。  
横須賀(満)会員……清水さんに統いて準優勝致しました。ありがとうございました。ちなみに4位は吉原さんでした。  
清水会員……先日の第3分区親睦ゴルフ大会で

優勝しました。ありがとうございました。  
荻原会員……頑張った人たちへ。  
長野会員……中村ガバナー、ようこそいらっしゃいました。  
但野会員……中村ガバナー、お疲れ様です。  
白田会員……今日は勉強させていただきます。

本日の合計	16件	100,000円
10月の合計	56件	318,000円
累計	204件	1,164,000円

#### ◇ 米山B O X

太田 正明会員……米山功労者献金  
(第9回) 10,000円  
(累計 590,000円)  
豊崎 繁会員……米山功労者献金  
(第3回) 10,000円  
(累計 430,000円)  
高沢 彰会員……米山功労者献金  
(第2回) 10,000円  
(累計 420,000円)  
二川 泰久会員……米山功労者献金  
(第4回) 10,000円  
(累計 140,000円)  
中村 昭彦会員……準米山功労者献金  
(第10回) 10,000円  
(累計 100,000円)  
中原 常雄会員……準米山功労者献金  
(第4回) 10,000円  
(累計 40,000円)

この計	6 件	60,000円
-----	-----	---------

#### ◇ 幹事報告

片岡幹事

- 11月定例理事会が開催されます。役員理事の方々ご出席ください。  
とき 11月5日(火) 11:30  
ところ 例会場  
議題 1) 新会員所属委員会について  
 2) 指名委員会及び開催について  
 3) 年次総会開催日について  
 4) 2020～2021年度地区委員推薦について  
 5) 災害協定による災害対策積立

### 金の使用について

- 6) 市内6RC合同例会について
- 7) 水戸RAC活動報告及び計画について
- 8) 新年家族会について
- 9) 11月・12月例会プログラムについて
- 10) 会計報告
- 11) その他

2. 新会員オリエンテーションのご案内が来て  
おります。

と き 11月24日(日) 受付 9:30  
研修及び講演 10:00~15:30

ところ リリーベール小学校  
水戸市藤が原3-1117-1288  
TEL 222-9090  
開催要領 講演「ロータリーの基本」  
「リーダーシップ論」  
テキストによる研修  
RLI方式による新会員研修、  
懇談会、記念撮影等予定

対象者 入会3年未満の会員  
和田(徹)、藤本、鯉沼、宮沢、  
松本、大関、中村(三)、神尾(友)、  
関口、杉本、浪川、雨宮、中原、  
吉田、青沼、関、亀山、小宅、  
石川、久保田、鎌倉、武藤、  
鈴木(賢)、幡谷、秀、川崎(隆)、  
本島、海野、秋葉、荒川、額賀、  
渡辺(孝)  
登録料 3,000円  
締切日 11月8日(金)  
クラブ締切日 11月5日(火)

3. 本日のガバナー公式訪問スケジュールは、  
下記の通りです。

例会・記念講演 12:30 (4F ステラ)  
記念撮影 13:40 (3F ジェンティール)  
クラブ協議会 12:30 (4F ステラ)  
懇親会 16:45 (4F ステラ)

4. 茨城ロータリーEクラブ認証状伝達式が挙行され、会長幹事がお招きを受けております。

と き 11月9日(土)  
登録受付 16:30~17:00  
式 典 17:00~18:00

祝 宴 18:00~19:30

ところ 水戸京成ホテル「瑠璃の間」



週報担当 香嶋 貴 委員長

### 例会予告

11月14日(木) 18:15~21:30  
—水戸市内6RC合同例会—  
於 水戸プラザホテル  
講演I 「健康の正体」  
順天堂大学医学部付属順天堂医院  
総合診療科教授 小林 弘幸 氏  
講演II 「茨城県における市民緊急対応の  
必要性 —心肺蘇生とAED—」  
水戸医療センター救命救急センター長  
安田 貢 氏

11月19日(火)  
卓話「ロータリー財団月間に因んで」  
地区資金管理委員長・  
グローバル補助金担当委員  
宇留野秀一 氏 (水戸南RC)

11月26日(火)  
—イニシエーションスピーチ—  
卓話「人生100年時代の資産活用術」  
石川 真二 会員

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……